

〇4月25日開催 第3139回例会
岳連同調例会 六甲山地/山の三角点・その6
「ハチノス谷西尾根から摩耶山へ」

岳連・普及委員長（布引支部）吉野 宏
ウイルス変異株が急増し不気味さを増す日々の中、4月5日に発表されていた「まん延防止等重点措置」は、20日後の25日、3回目となる「緊急事態宣言」の発令となってしまった。兵岳連・普及委員会企画の新年度第1回目の行事開催当日である。当日開催中止！なんてとてもじゃないが言い出せぬ！参加されるメンバーは大半がヒヨコの会員さんで、コロナ感染防止策は耳にタコが出来るくらいお聞きになっている。引率者としては、努めて明るく対応せねば！！と護国神社集合8:30分であったが、気合を入れて50分も前に到着し、皆さんを迎えた・・・。



杣谷道入口にて

男性11名、女性20名、参加者の3分の2が山ガールである。しかも50代～60代前半の方が大半で、引率者の私より年上の参加者は2名のみ。時代の移ろいをつくづく感じる。本日の計画は、摩耶山地へ至る一番東側の尾根・長峰山天狗塚（687.8M）へ突き上げるハチノス谷西尾根を一気に登り、三角点を確認。杣谷峠までの長峰パノラマコースのアップダウンを楽しんで穂高湖へ・・・が午前中。昼食後、徳川道へ入ったすぐ先から車道へ出、摩耶山掬星台から三角点のある山頂へ。そして、縦走コースを下り、布引ハーブ園側へ少し入った場所にある三角点を確認後、下山へ・・・というコースである。検温を終へ、挨拶や説明もそこそこに出発した。

杣谷堰堤を超え、水の流れを跨ぐと、すぐ左側に摩耶東谷へ入って行くコース入口がある。そのまま道なりに進んで行くと、山寺尾根登り口の道標が有り、その先30メートル程で杣谷川に出る。川を渡ったらカスケードバレイ（徳川道・杣谷道）に合流し、すぐ右側がハチノス谷西尾根への取付点である。



新ルート標識

・・・昔はカスケードバレイをもう少し登り、岩ヶ谷から尾根に取付いて天狗塚を目指すコースをよく歩いたが、谷筋を詰めて行くルートなので大雨や洪水でかなり傷んでおり、マイナーコースに変貌しているため入山は注意が必要だ。又、摩耶山アゴニー坂へ合流出来るルートとしてよく入って行った川の西側の木ノ袋谷やその尾根も時代と共にマイナーなコースとなっている・・・



ハチノス谷西尾根最後の急登も笑顔で！

さて、コロナ禍中での山行である。計画段階から「密となるコースは避け、登山者の少ない、しかしながら十分楽しんで頂けるコース選び」を心がけてきた。多少なりともその条件を満たしていたのか、天狗塚までは下山者2名のみであった。



天狗塚(687.8M)にて/皆さん、イ〜お顔です！



ごめんなさい！左のKさん、慌てシャッターでした！
西尾根最後の急登を登り詰めると、長峰本尾根コースに飛び出し、すぐ先が大岩の天狗塚である。三角点は岩場にある為、安全を優先に考え7〜8人ずつ交代で登って頂き、三角点を確認。むき出しになっていた三角点は、手が加えられたのか、良い状態で鎮座していた。



天狗塚の三角点



滑落しますので、これ以上下がって撮れません！

少人数だと360度の好展望をゆっくりと楽しめる場所なのだが、30人を超える大パーティである。慌しく交代し、代わりに杣谷峠までと続く長峰尾根のアップダウンを楽しむ(?)方へと先を急ぐことにした・・・。

今回の行事に対しての問い合わせは、一般からは1件も無かったし、中級向の表示をしていたのが幸い(?)してか、参加者全員がヒヨコ会員であったので、穂高湖での昼食タイムは皆さん、大変リラックスされた様子であった。



HNCM 一期生・布引支部の姉さん？^{あね}軍団でっせ！

ここで穂高湖についての豆知識を。・・・昭和37年、青少年の野外活動施設として設立された「六甲山ユースセンター」は、後(昭和48年)に「自然の家」として新たに開設されたのであるが、その間に着工された穂高堰堤の完成は昭和41年1月に竣工(完成)している。当初は水を

せき止めずに水門を開けたままだったようだが、昭和 50 年 6 月 7 日付・毎日新聞の見出しに見るように「六甲山に新しい人造湖完成」となっている。内容は、穂高堰堤の水門を閉じて、水をせき止め新しく人造湖を作り、周遊路を完成させ、梅雨明けから市民に開放するとの記事である。従って「人造湖・穂高湖」が出来たのは、昭和 50 年 6 月となる/六甲歴史散歩会・前田康男氏 談以降、47 間に亘り青少年やハイカーの活動の場として、又、憩いの場所として親しまれているのである・・・。

穂高湖を後にし、徳川道へ入る。すぐに摩耶山への表示石が有り、車道に出る。1 月の岳連普及委員会行事でお連れした、新穂高の山並みが目に飛び込んで来る。北西方向を望むと、丹生・帝釈の連山が静かに横たわっているのが望める。



丹生山・帝釈山を望む

折角摩耶山まで来たのだから、摩耶自然観察園を抜けて掬星台へ・・・と思い、そのコースを取った。花は少なかったが、シャクナゲが迎えてくれた。



シャクナゲ

掬星台はハイカーが多く、トイレ休憩後、すぐに摩耶山上の三角点へ向かう。



点名/摩耶山の三等三角点は、698.6M 地点



参加者全員お疲れの様子は全くございません！

旧天上寺跡（摩耶史跡公園）から奥の院經由の尾根コースから入って来ると、結構シンドイが、掬星台からだと三角点まではラクチン！である。ビックリするくらい大きな三角点表示看板の前で集合写真を撮り、縦走コースへ向かう。

・・・すぐ裏に石丸猿田彦大神が祀られており、近くには広さ八畳も有ろうかと称される天狗岩（行者岩）もある。いずれも裂けたような岩だが、摩耶の僧が夜な夜な出没する天狗を閉じ込めた岩との伝説があったようだが修験道者が信仰の対象にしたには間違いはないだろう・・・。



超アップで撮った！・・・シロバナウンゼンツツジ

天狗道から稲妻坂への下りは結構ハイカー多く、流石人気の縦走コースだと改め感心する。稲妻坂の中間付近から左（ハーブ園尾根側）へ入りすぐに右にとると、本日最後の三角点「山郡・425M」が確認できた。



上/「山郡・425M」の三角点表示板と



下/三角点石柱



布引みはらし台には3時40分着。天候に恵まれ、事故やバテる参加者も出ず、大変有意義な山行であった。

天候 晴れ

参加者 31名



情報/7月末完成予定のバリアフリースイレ前にて

(場所：雄滝分岐近く)